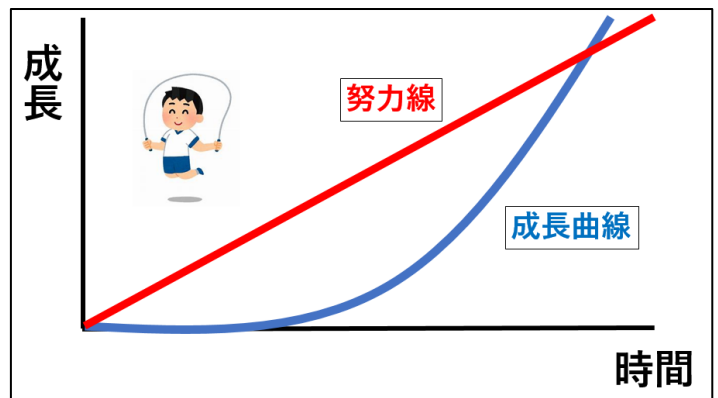


なりたい自分になるためには。

早いもので、あっという間に2月です。今週は雪が舞う寒い日が続きましたが、子どもたちはそれぞれに寒い日を楽しんでいる様子が見られました。朝から雪玉を作って登校する児童もいましたし、冷たい風に負けずに休み時間にいつも通り元気に遊ぶ子たちも多かったです。

さて、今週は全校集会で子どもたちに話す機会がありました。どの学級の子どもたちも姿勢よく、しっかり聞いている様子をうれしく眺めながら「なりたい自分になるためには、どんなことが必要だろうか」ということを話しました。右の図のように、努力をした分、それに比例して成長することはあまりありません。努力をしばらく続けても、すぐに効果が表れないことは子どもたちにも経験があることです。「二段跳びや跳び箱など、練習してもなかなかできるようにならないことってあるよね。何度も練習してもできないから諦めちゃう人もいるかもしれない」こんな話をするとうなずいている子どもも多くいます。



しかし、その停滞期をすぎると「ぐんと伸びる」時期があります。先日、5年生の体育の授業で跳び箱の練習を何度も繰り返している児童がいました。傍らには、助言を行う友達の姿もありました。すると「あっ、跳べた」という瞬間が訪れました。その後は、今までできなかったことが嘘のようにどんどん軽々と跳び続けました。こんな子どもたちの姿を見るのはとてもうれしいものです。努力を続けるためには「がまん」も必要です。子どもたちには「なりたい自分」になるために根気強く取り組む習慣を身につけてほしいと願います。

6年生の取組（卒業プロジェクト）、進んでいます！

6年生の子どもたちが、卒業を前に「楠小学校のためにできること」を自分たちで考え、様々な取り組みを行っています。運動会の入場門をリニューアルしたり、校舎や校庭をきれいに掃除してくれたり。6年生の日ごろの授業を見ていても、友達と話し合いながらより良い考えを導き出そうとする姿が多く見られます。一日一日と卒業の日が迫り寂しい思いも高まりますが、残り少ない小学校生活を友達と共にクリエイティブに試行錯誤しながらも、楽しく過ごしてほしいなと思います。

